

導入先の要望に合わせたサーバ構築を 安価に実現

KEY POINT

・目的に合わせたサーバシステムの構築は、豊富な知識を持ったインテグレータが不可欠

遠隔医療で画像を蓄積できる サーバシステムへの要望

電子カルテをはじめ、医療機関でのIT化は着実に進んでいる。そうした中で注目されているのが、遠隔医療システムだ。この遠隔診断を実現するためのシステムを提供しているのが、福岡県福岡市にある「ネット・メディカルセンター」である。同社の遠隔画像診断支援システムでは、画像を送信するために利用者側の医療機関に小型のサーバを設置している。ただ、ストレージの容量が小さく、多くの画像を保存することができなかった。そうした中、画像を医療活動に役立てるために長期間保存したいという要望が生まれ「なるべく費用をかけずに、目的が達成できないか（ネット・メディカルセンター システム開発部長 山田隆裕

氏）」と相談を持ちかけられたのがサーバウェブだった。

サーバウェブは、パソコン/PCパーツショップである「ドスパラ」を全国展開しているほか、企業向けの特別仕様のサーバシステムも提供しているインテグレータだ。同社は高度な専門技術や知識を持つとインテルが認定したインテルプレミアムプロバイダの1社で、その技術力には定評がある。

コンサルティングを重視し フルカスタマイズでサーバを提供

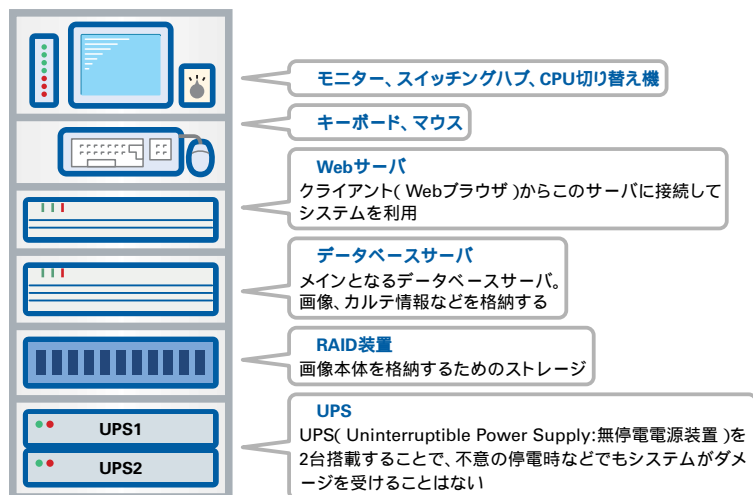
山田氏の頭の中にあったのは、画像を蓄積するのに十分な容量を確保できるストレージを搭載、かつ安価なシステムにすることだ。ただ、安価とはいっても処理能力も求められる。こうした要望に応えるために、サーバウェブの福岡法人事業部 光安健太郎氏は、

東京本社と綿密な連携を取って対応した。特に今回のポイントになったのは、納入する医療機関の規模に合わせたシステム構成が可能であること。そこで光安氏は「案件が始まる際に、それを導入する目的や予算、そして必要なスペックなどをまずしっかりお聞きします。その上で、スペックに無駄が生じないように気を付けています」という。

こうしてできあがったシステムが図1である。クライアントからはWebブラウザを利用してWebサーバにアクセスする。画像の参照/登録などはデータベースサーバを介してストレージが参照されるという仕組みだ。

今回のケースは柔軟な構成のカスタマイズを求めるネット・メディカルセンターの要望と、それに応えられる体制と経験を持つサーバウェブが見事にマッチした事例といえるだろう。

図1 今回提案された、システム構成例



Profile

名称	株式会社ネット・メディカルセンター
設立	2000年6月14日
本社所在地	福岡市南区那の川1丁目24-1 九電工福岡支店ビル6階
資本金	3億円(九電工100%出資)
売上高	2億6000万円(2004年)
従業員数	12人
事業内容	通信システムによる遠隔画像診断サービス、遠隔画像診断システム構築、院内情報システムのコンサルティング、コンピューターシステム・ソフトウェアの製作・販売、その他医用画像に関するトータルコンサルティング
URL	http://www.nmed-center.co.jp/

システム導入に関する問い合わせ先

株式会社サーバウェブ
☎03-5294-6323
<http://www.dospara.co.jp/>